

# 令和3年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 浅川 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

#### 教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

#### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

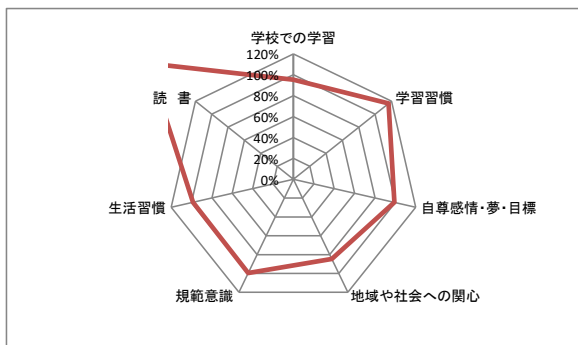
本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	○全体的に全国平均を上回っていた。特に「話すこと・聞くこと」に関する領域は高い傾向にあった。しかし、知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関しては、全校平均を下回っていた。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	○「目的や意図に応じ、資料を使って話す」や「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」は、全国平均値を大きく上回っていた。	
	努力が必要な問題	○「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」ことや「文の中における修飾と被修飾との関係を捉える」問題は、正答率が低い結果となった。	

算数	全体的な傾向や特徴など	○全体的に全国平均を上回っていた。特に領域C「変化と関係」においては、高い傾向が見られた。しかし領域B「図形」に関しては、全国平均より多少下回る結果となった。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	○「速さを求める除法の式と商の意味を理解している」や「速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる」は、全国平均値を大きく上回っていた。	
	努力が必要な問題	○「複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる」や「示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる」問題は、正答率が低い結果となった。	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<p>○質問領域別では、以下の結果を得た。</p> <p>【全国比より高い】</p> <p>○家で、自分で計画を立てて勉強をし、学校の授業以外に勉強をしている時間は全国平均を上回っていたことから学習習慣が身に付いてきていることが分かる。</p> <p>○特に読書時間においては、全国平均を大きく上回り、学校での取組が成果となって表れていると考える。</p> <p>【全国比よりも低い】</p> <p>○「学校での学習」「地域や社会への関心」の肯定的な回答の割合が全国平均よりも下回った。</p>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- 調査結果の分析について学校全体で共通理解を図る場を設定し、課題解決のための取組の再検証を行う。
- スタンダード型授業を徹底し、学校全体で「わかる授業づくり」を目指す。
- 国語力の底上げとして、今年度より全校で取り組んでいる読書タイムを徹底し、習慣化する。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- 総合的な学習の時間や生活科の学習を活用し、自分たちが住む地域に関心をもたせる活動を仕組み、シビックプライドを培う。
- 子どもたちが将来の夢や目標をもてるように、外部講師の招聘なども視野にキャリア教育を充実させていく。